

和歌山県立近代美術館・博物館の 建築・デザイン

出品目録

2026年7月22日(水)～9月27日(日)

1

菊竹清訓・川添登・大高正人・槇文彦・
黒川紀章 [著] 『メタボリズム 1960』
1960年
美術出版社刊行
当館蔵

ジャケット：メタボリズムⅠ 未来の都市
表紙：METABOLISM/1960
扉：metabolism 都市への提案 THE
PROPOSALS FOR NEW URBANISM
奥付：メタボリズム 1960
〔ジャケット、表紙、扉、奥付でタイトル表記が
異なる〕

本文に印刷の奥付：
First Edition April 1960
Printed in Japan ©
By the Bijutu Syuppan Sha, Masao Oshita
President
At the Toppan Printing Co., Ltd. and Saito
Process Co., Ltd.

紙片貼付の奥付：
1960年7月15日発行
編集人 川添登
発行人 大下正男
本文印刷 凸版印刷
扉印刷 斉藤プロセス
発行所 美術出版社

川添登による巻頭文：
「メタボリズム」とは、来たるべき社会の姿を、具
体的に提案するグループの名称である。
われわれは、人間社会を、原子から大星雲にいたる
宇宙の生成発展する一過程と考えているが、とくに
メタボリズム（新陳代謝）という生物学上の用語
を用いるのは、デザインや技術を、人間の生命力の
外延と考えるからに他ならない。したがってわれ
われは、歴史の新陳代謝を、自然的に受入れるの
ではなく、積極的に促進させようとするものである。
今回は、建築家による都市の提案でまとめられた
が、今回は、各分野のデザイナーや美術家、技術者、
科学者、また政治家など、多分野からの参加が予定
され、すでにその一部は準備を始めている。われわ
れのグループそのものも、たえまない新陳代謝を続

けていくであろう。

目次：
海洋都市＝菊竹清訓 6 / 物質と人間＝川添登 40 /
群造形へ＝大高正人＋槇文彦 52 / 空間都市＝黒川
紀章 70

＊日本初の国際デザイン会議「世界デザイン会
議」が1960年5月11日から16日まで、東京
の大手町産経会館で開催された。黒川たちはそれ
に合わせて『メタボリズム 1960』2000部を自
費出版し、会場で売って歩いた。メタボリズム・
グループの記念碑的な書籍。

＊奥付本文用紙に印刷された発行月が4月で、糊
付けされた奥付では7月となっている。おそらく
世界デザイン会議までに製本が間に合わず、簡易製
本の冊子を頒布した後、一般書籍としてハードカ
バー版が7月に刊行されたと考えられる。

2

黒川紀章著『ホモ・モーベンス 都市と
人間の未来』
1964年初版 / 1976年10版
中央公論社刊行（中公新書198）

序章 ホモ・モーベンスとは何か
第1章 ホモ・モーベンスの環境
第2章 ホモ・モーベンスの条件
第3章 ホモ・モーベンスのすみか
あとがき

「第3章 ホモ・モーベンスのすみか」の最後に
「カプセル宣言」第1条～第8条が記載されてい
る。

3

黒川紀章著『行動建築論 メタボリズム
の美学』
1967年6月10日第1版発行
1970年11月1日第1版第6刷
装丁デザイン：栗津潔
彰国社刊行
個人蔵

私にとっては、本を書いたり、講演をしたり、研
究するという、どちらかといえばイメージの世界
の体験と、本番の建築や都市の設計という実践の
体験、そしてまた日常生活の行動体験とがきわめ
て領域のはっきりしない同一価値の世界なのであ

る。いいかえると、これらの全活動のプロセスを同時に体験して、はじめて生きているという実感を得ているといつてよい。

思想の段階、設計の段階、そして施工・完成を経て、その建築が社会に反応を起こし、時間とともに行動していく全過程。この全過程にかかわり合う建築家の思想的・日常的実践の行動の全過程。そのすべての行動がまぎれもなく創造行為であり、作品の評価の対象だという意味から名付けたのが行動建築論という標題である。また行動建築（アクション・アーキテクチャー）という言葉は、この七年間を通じて追求しているメタボリズム（新陳代謝する建築や都市の空間）の方法論を一つの側面から表現したつもりでもある。[あとがき抜粋]

4
黒川紀章著『黒川紀章の作品』
函、レコード
1970 年
装丁デザイン：栗津潔
美術出版社刊行
個人蔵

黒川紀章のコンセプトをビジュアルで伝える
アートブック
函と同じデザインのポスターと、レコード付

レコードは、一柳慧作曲「MUSIC FOR LIVING SPACE」（1969）。グレゴリオ聖歌で始まり、黒川紀章の声をもとにしたというコンピューター音声がかプセル宣言第一条から第六条までを読み上げる。心臓音で終わる。

5
黒川紀章著『黒川紀章の作品』
本
1970 年
装丁デザイン：栗津潔
美術出版社刊行
個人蔵

ディスコティック スペース・カプセル 1968

6
「竣工記念 中銀カプセルタワービル
中銀カプセルマンション〈銀座〉」
ミニチュアライト
1972 年

個人蔵

底面：
昭和 47 年 4 月 5 日
設計開発監理 株式会社黒川紀章建築・都市設計事務所
施工 大成建設株式会社
カプセル製作 株式会社大丸
施主 中銀マンション株式会社

7
中銀カプセル 模型
黒川紀章建築都市設計事務所蔵

8
和歌山県立近代美術館・博物館建築資料
道路改良図
1990 年頃
当館蔵

和歌山港鳴神山口線 工事
和歌山市吹上 1 丁目～岡山丁
和歌山土木事務所

9
和歌山県立近代美術館・博物館建築資料
土質標本
1990 年頃
応用地質株式会社
当館蔵

4 箱のうち 3 箱を展示

10
和歌山県立近代美術館等新築工事に伴う
土質調査 委託報告書
1991 年 2 月
和歌山県教育庁
応用地質株式会社
当館蔵

11
「和歌山県立美術館・博物館 建設工
事」パンフレット
1991 年

和歌山県 刊行
当館蔵

コンセプト
配置図
平面計画図
工事概要
特殊工法
主な数量
電気設備
空調設備
底手摺のデザインについて
工事工程

コンセプト
a) 歴史と建築との共生
b) 自然と建築との共生
c) 動線の分離
d) 建物の配置
e) 建築の耐久性

建築主 和歌山県
監理 和歌山県土木部営繕課
設計・監理 (株) 黒川紀章建築・都市設計事務所
施工 竹中・清水・戸田特定建築工事共同企業体
きんでん・伊藤電気特定電気設備工事共同
企業体
日立プラント・長谷川冷機特定機械設備工
事共同企業体
工期 着工 H3 年 9 月 28 日
完成 H6 年 1 月 31 日

特殊工法
1 特殊重機による移植工事
2 山留 H 鋼横矢板 バックアンカー工法
3 外防水先貼り工法 (バラシール防水)
4 ノンセバ大型パネル工法 (ブレースフレーム)
5 コンクリート打設 2 段打工法
6 特殊支保工 (3S システム支保工)
7 床フェローデッキ工法 (ノンサポート工法)
(ダンエース……断熱材工場貼フェローデッ
キ)
8 木織セメント板型枠工法 (モクセラ)
9 鉄骨底リフトアップ工法
10 外壁タイル下地 MCR 工法

12
和歌山県立近代美術館 基本設計報告書
1990 年
黒川紀章建築・都市設計事務所
当館蔵

13
和歌山県立近代美術館 庇のトラス構造
模型
1990 年頃
当館蔵

建設計画を和歌山県知事にプレゼンテーションす
る際に制作されたもの

14
「和歌山県立近代美術館・和歌山県立博
物館」建築パンフレット
1991 年頃
黒川紀章建築・都市設計事務所 刊行
当館蔵

15
Kisho Kurokawa Recent Projects
– 4 Museums
[黒川紀章 近年のプロジェクト
4 つのミュージアム]
カタログ
1993 年
イギリス王立美術館 刊行
当館蔵

イギリス王立美術館で開催された黒川紀章展のカ
タログ。
ヴァン・ゴッホ美術館新館、ルーヴァン・ラ・ヌ
ーヴ美術館、和歌山県立近代美術館・博物館、愛
媛県総合科学博物館の計画が紹介されている。
表紙は愛媛県総合科学博物館、裏表紙は和歌山県
立近代美術館・博物館の計画図

16
Kisho Kurokawa
Abstract Symbolism
[黒川紀章 アブストラクト・シンボリ
ズム]
1996 年
l' Arca Edizioni 刊行
当館蔵

イタリアの建築・デザイン専門出版社から出版さ
れた黒川紀章の作品集。イタリアの建築史家 アル

ド・カステラーノ（Aldo Castellano）による前書。黒川紀章による概説。表紙に和歌山県立近代美術館・博物館

当館蔵

17
和歌山県立近代美術館・和歌山県立博物館模型 1/200
1994 年
石膏ほか
当館蔵

23
和歌山県立近代美術館 ミュージアムショップ 庇原寸ディテール
1997 年
アルミ板、木、アクリル板
当館蔵

18
和歌山県立近代美術館 庇先端部
原寸ディテール
1997 年
アルミ板
当館蔵

19
和歌山県立博物館 換気窓
原寸ディテール
1997 年
ガラスほか
当館蔵

20
フラクタルシリーズ
ドアハンドル（3 点）
1997 年
アルミキャスト
当館蔵

21
フラクタルシリーズ ドアノブ（3 点）
1997 年
アルミキャスト
当館蔵

22
フラクタルシリーズ ハイバックチェアー
原寸ディテール
1997 年
木